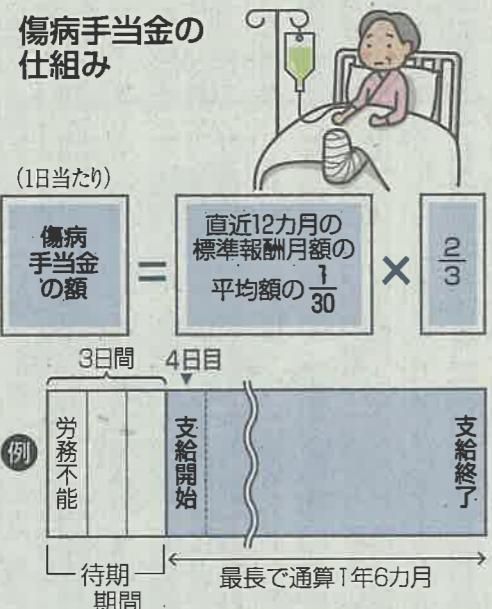


くらし

Q 50代の会社員。病気で仕事を2ヶ月休みます。給与が減るので家計が心配です。

A あまり不安がらないでください。会社や役所に勤務する人が加入する健康保険では、病気やけがで休業せざるを得なくなつたとき、その間の収入減をカバーする「傷病手当金」の仕組みがあります。



あんしん 人生後半

第3部 医療保険 11

手当金として給与の3分の2相当が、最長で通算1年6カ月支給されます。協会けんぽや健康保険組合に加入する会社員と、共済組合加入の公務員らが利用できます。

病欠 給与の3分の2カバー

事ができず(労務不能)、給与が支払われなかつたり減額されたりした場合。3日続けて休業した後の4日目から支給開始となります。「労務不能」となった最初の継続した3日間を「待定期間」と言います。公休日も含みますから、例えば待定期間の初日が金曜日で土日が公休日だと、支給開始日は月曜になります。なお、会社を退職後に任

め。まだ浴槽が温いからです。換気扇を抜いて浴槽に変更され、治療と仕事を両立しやすくなりました。直しにより、職場復帰している日数は「1年半にカウントしない」ルールに変更され、治療と仕事を両立しやすくなりました。傷病手当金は、自営業者や労働者によると現在は生労働省によると現在は支給実績が報告されていま

くらしのピント

風呂掃除は入浴直後に

浴室の掃除を

せん。



昨年10月ごろに高齢男性の遺体が見つかったマンションの部屋=大阪府

1人暮らしの高齢者が増えている。昭和から平成、令和へと右肩上がりに増え続け、25年後には約1084万世帯(国立社会保障・人口問題研究所の将来推計)となる見通しだ。懸念されるのが、孤独死の増加。どうすればいいのだろうか。

大阪府内のマンションの一室。住人の高齢男性の遺体

いがないから周りの住民は関わりたくない。半年ぐらいい見つけてもらえない方もいます」

特殊清掃や遺品整理を手がける「ベストサークル」(大阪)代表取締役の工藤敏光

は2月と9月。物価高で光が見つかる時期だ。10年前と比べ件数は2倍以上に増

つたりして亡くなり、遺体の警察が取り扱った遺体のうち、自宅で死亡していた1人暮らしの人の数を公表。昨年1月から半年間で3万7227人(暫定値)が亡くなり、このうち65歳

以上の高齢者が2万8330人で76・1%を占めた。

「1人で住んでいる以上、孤独死は防げない」と工藤さん。そこで必要になるのは、早期発見の仕掛けづくりだ。照明や電気ポットの使用で安否確認できるサービスがある。家族や地域で見守りが難しい場合は、(民間の)見守り訪問サービスもお勧めです



「社会的孤立をいかに防ぐかが大事」と新井康友教授

額は1万5千円。この3分の2に相当する1万円が1日当たりの分として支給されます。月額だと約30万円の3分の2に当たる額が休業1日につけ支給されます。例えば月給の平均が45万円の人だと、30で割った

以上が支給開始となります。が、かつては支給開始から1年半で打ち切られます。超高齢社会の課題を見つめる。|| 隨時掲載 ||

2025年、団塊の世代が全員75歳以上になり、日本は大きな節目を迎える。超高齢社会の課題を見つめる。

費を毎月集めれば顔を合わせ機会が増え、異変に気付けるようになる。新井教授は「いろんなものを地域につくつて、そのどれかに(孤独死)立している人が)引っかかるべきいい。点が線になり、触頻度を増やすことが重要だと指摘する。

増える孤独死

トして

レカンパクを除去するの間に半でやの間に増える減させを防げ会で発似た

超高齢社会 2025

体が昨年10月ごろ見つかつた。この部屋で昨夏亡くなつたとみられ、倒れていた場所には黒い染みが残り、異臭が漂う。

「臭いや虫が出て『おかしい』と思つても、付き合いませんが、周囲の住民は関わりたくない。半年ぐらいい見つけてもらえない方もいます」

特殊清掃の仕事のピークは2月と9月。物価高で光が見つかる時期だ。10年前と比べ件数は2倍以上に増えた。

警察は昨年8月、全国の警察が取り扱った遺体のうち、自宅で死亡していた1人暮らしの人の数を公示。昨年1月から半年間で3万7227人(暫定値)が亡くなり、このうち65歳以上の高齢者が2万8330人で76・1%を占めた。

「薬ではなく、行政を含め、あの手この手で対面での接觸頻度を増やすことが重要だと指摘する。

サーカル活動に取り組んだり、一緒に食事する場を設けたり。面倒でも自治会

